

令和8年度 出雲崎小学校のグランドデザイン



教育目標

だれとでも仲良くする子
すすんで学びとりくむ子



年度の重点目標

自らとりくむ みんなでつくる

スローガン

レッツチャレンジャー自分らしく輝こう

- <大切にすること>
- I 温かな人間関係の構築と個に応じた支援で、ありのままの自分を肯定的に捉える自己肯定感を育てます。
 - II 多様な人・モノ・コトとの関わりを深める豊かな体験の場を設定し、他者のために役立った、認められたという自己有用感を育みます。
 - III 情報発信や意見交換、教育相談の機会を捉え、家庭や地域、関係者と協働して、共に育み、共に育つ「共育」を進めます。

確かな学びを創る

豊かな感性と社会性を育む

健康・安全と体力の向上を図る

まなびの部

目指す子供の姿

◇主体的に学び、学び合うことで、確かな学力を身に付ける子

- (1)課題解決に向けて自ら考え学び合う
- (2)学習習慣、読書習慣を身に付ける

そのために学校では

- ・実体験や関わり合いの場を設定したり、ICTを活用したりして、学ぶ楽しさや分かる喜びが実感できる授業づくりをします。
- ・学校の学びを家庭学習につなげ、宿題をやり遂げ、自主学習(読書を含む)に取り組む態度を育みます。
- ・情報を理解し、表現する力を身に付けるため、読書活動の取組を工夫し、意識を高めます。

主な評価目標

- ・「進んで学習に取り組むことができた」「授業が分かる」「話し合いの場で自分の考えを伝えることができた」と答える児童が85%
- ・目標とする家庭学習(宿題、自主学習)に取り組んだと答える児童が85%

家庭との協働

- ☆家庭学習に取り組めるよう支援を工夫し、内容や成果を積極的に家庭に知らせます。
- ☆家庭学習や読書習慣づくりの声かけや励ましを学校と家庭の相互で行います。

こころの部

目指す子供の姿

◇自分や他者の気持ちを考え、進んで行動できる子

- (1)相手の気持ちを考えて行動する
- (2)自分から気持ちのよいあいさつをする

そのために学校では

- ・人権を考え、自他の気持ちを大切にすることを育みます。
- ・目的をしっかりとしつかませ、人のために役立つようとする機会を増やします。
- ・あいさつ活動の取組を工夫し、意識を高めます。



主な評価目標

- ・「友達に進んで優しい言葉をかけた」「友達をさん付けで呼んだ」と答える児童が、各学期平均90%
- ・「係活動や当番活動、委員会のしごとなどで周りの人の役に立てた」と答える児童が90%
- ・「自分から相手の目を見てあいさつできた」と答える児童が90%

家庭との協働

- ☆家庭との連携や情報交換をこまめにかつ迅速に行い、いじめの早期発見と解消に努めます。
- ☆家庭や地域ぐるみでのあいさつ活動を行います。

からだの部

目指す子供の姿

◇健康や安全、運動のめあてをもち、自ら取り組む子

- (1)自ら望ましい生活習慣をつくる
- (2)めあてに向かって運動し、体力を向上させる

そのために学校では

- ・定期的に生活習慣を確認し、自分の生活を見直させ改善を促します。
- ・一人一人がめあてを設定し、振り返りによって自己の成長を自覚させ、体力を向上させます。
- ・自分から運動したくなる場やめあてを設定し、運動への意欲を高めます。



主な評価目標

- ・「自分で起きることができた」と答える児童が85%
- ・「ねるじこくを守ることができた」と答える児童が80%
- ・「進んで体を動かした」「めあてに向かって努力した」と答える児童が90%

家庭との協働

- ☆睡眠を確保できるよう適切なメディア利用を含めた生活習慣指導を行い、家庭と連携した取組を進めます。



自己肯定感を高めるインクルーシブ教育

【出雲崎町が目指す教育ビジョン】

つながり合い 学び合い 共に育つ学校

◎望ましい人間関係構築からの学力向上

◎地域に広げる協調的な幸せ

主な協働組織・団体

- 学校支援地域本部事業
- 後援会
- 地域コーディネーター
- 青少年育成町民会議
- ほなみが丘倶楽部
- 園・小・中・高連携
- 学習支援ボランティア